

## 難読漢字の巻



京都・奈良といった古都に関する地名や事柄は、歴史の厚みもあってか、難しい読み方をする言葉が多くなっていますね。また、寺院につきものの専門用語も、なかなか読みづらい、難しい読み方をする場合があります。さて、今回は修学旅行に関係のある用語の読み方を示しておきましょう。まずは京都の地名。班行動で耳にする・口にすることも多くなります。

**烏丸** → (からすま) 京の町を東西に分ける大通りの名です。うまるとか、とりまるなんて読まないように。他に、**御池通り** → (おいけどおり)・**丸太町通り** → (まるたまちどおり)・**今出川通り** → (いまでがわどおり) などがあります。また、**四条**は → (しじょう)、**七条**は → (しちじょう) ですね。さらに、**出町柳** → (でまちやなぎ)・**壬生** → (みぶ)・**太秦** → (うずまさ) などの難読地名があります。バス停の名前になっている **金閣寺道**・**清水道** などは、それぞれ、**(きんかくじみち・きよみずみち)** となります。

次はお寺に関係のある言葉。寺院などを建てることを**建立** → (こんりゅう) と言い、一般のお寺で本堂と呼んでいる、**伽藍** → (がらん：お寺の建物の総称) の中心となる建物を**金堂** → (こんどう) と呼びます。奈良・東大寺の金堂は大仏殿。これは世界最大の木造建築物で、一見二層建てに見える下の屋根は実は飾り屋根で、**裳階** → (もこし) と呼ばれています。この裳階は薬師寺(東塔・西塔・金堂)も有名です。大仏殿は**天平** → (てんぴょう) 時代に創建されましたが、過去二度にわたって焼失、



現在の建物は江戸時代の再建です。中に**鎮座** → (ちんざ) する大仏は**盧舎那仏** → (るしゃなぶつ)。仏像完成を祝って眼を描き入れることを**開眼** → (かいげん) と言います。また、東大寺には**南大門** → (なんだいもん) という壮大な門がありますが、この両側に立っているのが有名仏師**運慶**・**快慶** → (うんけい・かいけい) 作による**金剛力士** → (こんごうりきし) 像の二体、**阿形** → (あぎょう) と**吽形** → (うんぎょう) の像です。“阿吽の呼吸”なんて言葉もありますね。この像がまとっている薄物の長い布のことを、**天衣** → (てんね) と呼んでいます。そのほか、読みづらい言葉がひんぱんに出てきます。



さて、それでは、次のこれらの字は読めるでしょうか？

- ① 鳳 凰 … (                    )
- ② 手水鉢 … (                    )
- ③ 龍安寺 … (                    )
- ④ 仁和寺 … (                    )
- ⑤ 醍醐寺 … (                    )
- ⑥ 帷子ノ辻 … (                    )

解答はこうなります。

- ① 鳳 凰 … ( ほうおう ) : 伝説上の鳥です。極彩色の羽をまといます。
- ② 手水鉢 … ( ちょうずばち ) : 清めの手洗い鉢のことですね。つくばいともいいます。
- ③ 龍安寺 … ( りょうあんじ ) : 石庭で有名な寺院の名です。
- ④ 仁和寺 … ( にんなじ ) : 御室桜で有名な寺院の名です。
- ⑤ 醍醐寺 … ( だいがじ ) : 豊臣秀吉による「醍醐の花見」が行われた地として知られています。
- ⑥ 帷子ノ辻… ( かたびらのつじ ) : 嵯峨天皇の皇后・壇林皇后にまつわる悲伝からついた地名。